

◆専門学校名：北海道医薬専門学校

◆授業計画のURL：http://www.iyaku.ac.jp/knownow/files/educational_activity.pdf

薬業学科：http://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/syllabus1_yakuzi.pdf

医療事務学科：http://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/syllabus2_iryouzimu.pdf

診療放射線学科：http://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/syllabus4_hoshasen.pdf

看護学科：http://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/syllabus5_kango.pdf

保育学科：http://www.iyaku.ac.jp/disclosure/files/syllabus3_hoiku.pdf

(商業実務分野) 薬業学科・医療事務学科
 (医療分野) 診療放射線学科・看護学科
 (教育・福祉分野) 保育学科

◆実務経験のある教員による授業科目の単位数（時間数）

	薬業学科	医療事務学科	診療放射線学科	看護学科	保育学科
学科共通科目	1170	1035	1935	2334	1350
各専攻科目	医薬品販売	病院事務	/	/	/
	180	180			
	ヘルス&ビューティ	病院秘書クレーク			
	180	180			
薬剤師アシスタント	調剤薬局事務	/	/	/	
	105				180
合 計	医薬品販売	病院事務	1935	2334	1350
	1350	1215			
	ヘルス&ビューティ	病院秘書クレーク			
	1350	1215			
薬剤師アシスタント	調剤薬局事務	/	/	/	
	1275				1215
設置基準上の標準単位数	1850	1790	2400	3000	2130

(時間)

◆「実務経験のある教員による授業科目」として計上した授業科目の一覧

URL：http://www.iyaku.ac.jp/knownow/files/educational_activity.pdf

【実務経験のある教員一覧】

◆薬業学科

	教員名	教科目	時間	実務経験に係る内容	その他
1	藤村 秀樹	医薬品基礎	30	調剤薬局を運営している現役薬剤師が、医薬品の基本的な知識等を講義する	
		医薬品、医薬部外品、化粧品基礎	15	調剤薬局を運営している現役薬剤師が、医薬品や医薬部外品、化粧品の基本的な知識等を講義する	
		医薬品、医薬部外品、化粧品応用	30	調剤薬局を運営している現役薬剤師が、医薬品や医薬部外品、化粧品の基本的な知識等を講義する	
2	岡野 祐規子	医療用医薬品	45	現薬剤師が、製薬会社や調剤薬局における実務を通し、医療で使用される医薬品について解説する	
		薬学検定対策	90	現薬剤師が、製薬会社や調剤薬局における実務を通し、薬学の基礎について解説する	
		解剖生理学	60	現薬剤師が、製薬会社や調剤薬局における実務を通し、人体の解剖学生理に関する講義をする	
3	村松 康和	衛生学Ⅰ・Ⅱ	60	現在獣医師として教鞭を執っている教員が、公衆衛生について講義する	
4	駒野 隆典	社会人基礎力	15	企業で人材育成や新人教育を行ってきた教員が多様な経験をもとに社会人の基礎力を学ぶ	△
		販売マーケティング	60	広告代理店・マーケティング会社での経験を持つ教員が、具体的事例を挙げて指導する	
5	宮本 大	「店舗・薬店マネジメント論」	15	メーカーやドラッグストア等でブランドの企画・開発を行ってきた講師が、店舗・薬局のマネジメントを開設する	
6	坂田 富貴子	「基礎疾患Ⅰ・Ⅱ」	60	元看護師の教員が医療現場での経験を活かし、外科的疾患の総論を講義する	
7	大石 悦子	「薬剤学Ⅰ・Ⅱ」	90	薬剤師業務に携わっている講師が、その経験を活かし、薬の作用や効用効果等のための講義する	
8	宮井 佑輔	「薬理学」	30	薬剤師業務に携わった経験を持つ薬剤師が、薬理作用について講義する	
9	宮崎 昭人	「販売員のための英会話」	60	他国語の翻訳・校正・通訳を事業内容とする会社の経営者が、外国人観光通訳や企業の語学研修実務を通し、販売に使用する英会話を指導する	
10	添田 衛	栄養化学	30	栄養士の資格を持ち、健康相談や栄養指導を行っている講師が、栄養学について解説する	
11	神田 昭	「手話」	30	手話通話者としての経験を通し、接客対応に必要な基礎力を指導する	選択③

12	金城 杏	「韓国語販売会話」	30	韓国出身である講師が、通訳や学校での講師経験を通し、身近な会話術を指導する	選択③
13	照井 雅弥	生薬・漢方処方製剤	15	登録販売者としてドラッグストアに勤務していた講師が、生薬・漢方について解説し、講義する	
		薬事関連法規・制度 I	45	登録販売者としてドラッグストアに勤務していた講師が、薬事関連法規について解説し、指導する	
		登録販売者試験対策 I・II	60	登録販売者としてドラッグストアに勤務していた講師が、登録販売者試験について解説し、指導する	
		登録販売者試験対策フォローアップ I・II	45	登録販売者としてドラッグストアに勤務していた講師が、登録販売者試験について解説し、指導する	選択②
		医療保険制度	15	ドラッグストアでの管理職経験から医療制度について解説する	☆
		ヘルスケア総合演習 I	60	登録販売者としてドラッグストアでカウンセリング等の業務に携わった経験から、ヘルスケアについて解説する	△
		医薬品・ヘルス&ビューティ総合演習	60	登録販売者としてドラッグストアでの業務に携わった経験から、総合的な演習を行う	△・□
14	杉田 雅世	就職講座 I・II	60	学校現場で学生の就職指導を経験、またドラッグストアで店長として指導していた経験から実践を交え指導する	
		販売・接客マナー I・II	60	学校現場で学生の就職指導を経験、またドラッグストアで店長として指導していた経験から実践を交え指導する	
		薬業ゼミナール I・II	60	ドラッグストアで店長として指導していた経験から実践を交え指導する	
		登録販売者試験対策 I・II	120	登録販売者としてドラッグストアに勤務していた講師が、登録販売者試験について解説し、指導する	
		登録販売者試験対策フォローアップ I・II	90	登録販売者としてドラッグストアに勤務していた講師が、登録販売者試験について解説し、指導する	選択②
		ヘルスケア総論 I	30	登録販売者としてドラッグストアでカウンセリング等の業務に携わった経験から、ヘルスケアについて解説する	△
15	山田 武志	調剤薬局総論	30	現役薬剤師が、経営している調剤薬局の現状・日常業務等について解説する	☆
		薬剤師アシスタント総合演習	60	現役薬剤師が、経営している調剤薬局の現場における薬剤師業務を解説し、アシスタント業務の演習を行う	☆
16	浅沼 和恵	医療ビューティーケア基礎	45	化粧品会社にて販売・接客を経験し、メイク・ヘアケア等を実践指導してきた講師が医療に要するケアについて指導する	□

		ビューティーケア・メイクアップ基礎演習	15	化粧品会社にて販売・接客を経験し、メイク・ヘアケア等を実践指導してきた講師が医療に要するケアについて指導する	□
		医療ビューティーケア応用	30	化粧品会社にて販売・接客を経験し、メイク・ヘアケア等を実践指導してきた講師が医療に要するケアについて指導する	□○
17	藤田 千夏	「メイクアップ応用実務演習」	30	化粧品会社にて販売・接客を経験し、メイク・ヘアケア等を実践指導してきた講師が医療に要するケアについて指導する	□○

○複数講師で担当

△医薬品販売専攻のみ □ヘルス&ビューティ専攻のみ ☆薬剤師アシスタント専攻のみ
 選択①②③④は同数字いずれかのみ

◆医療事務学科

	教員名	教科目	時間	実務経験に係る内容	その他
1	坂田 富貴子	医学概論	15	元看護師の教員が、医療現場での経験を活かして広く医療について講義する	
		基礎疾患 I	30	元看護師の教員が医療現場での経験を活かし、外科的疾患の総論を講義する	
2	藤村 秀樹	医薬品基礎	30	調剤薬局を運営している現役薬剤師が、医薬品の基本的な知識等を講義する	
3	宮井 佑輔	病院事務総論	30	薬剤師として医療現場経験のある講師が、事務の機能や組織全体の動きなどについて幅広い内容の講義をする	▲
		薬理学	30	薬剤師業務に携わった経験を持つ薬剤師が、薬の作用や効用効果等について講義する	
4	日向 薫	医療保険制度・法規 II	30	医療事務経験があり、また医療事務関連での講師経験のある講師が、保険制度や診療報酬請求について指導する	▲
		診療報酬請求事務 I	30	医療事務経験があり、また医療事務関連での講師経験のある講師が、保険制度や診療報酬請求について指導する	▲
		診療報酬請求事務 II	60	医療事務経験があり、また医療事務関連での講師経験のある講師が、医療事務の現状を解説し診療報酬請求事務の検定対策を指導する師経験のある講師が、保険制度や診療報酬請求について指導する	
5	野崎 道子	医療事務コンピュータ I・II	75	医療の事務的業務に携わっている医療事務の講師が、医療事務コンピュータに関する様々な技術の実習を行う	

		電子カルテ実習	30	医療の事務的業務に携わっている医療事務の講師が、電子カルテに関する様々な操作技術の実習を行う	
6	吉田 和美	介護基本実習	30	介護事業所を開設し実績のある教員が、その経験を活かし、基本動作から実情にあった介護技術を実習指導する	
		ドクターズ・クラーク I ①	30	介護事業所を開設し実績のある教員が、その経験を活かし、基本動作から実情にあった介護技術を実習指導する	■
		ドクターズ・クラーク II ①	60	介護事業所を開設し実績のある教員が、その経験を活かし、基本動作から実情にあった介護技術を実習指導する	■
		ドクターズ・クラーク I ②	30	介護事業所を開設し実績のある教員が、その経験を活かし、基本動作から実情にあった介護技術を実習指導する	選択②
		ドクターズ・クラーク II ②	60	介護事業所を開設し実績のある教員が、その経験を活かし、基本動作から実情にあった介護技術を実習指導する	選択⑤
7	伊東 登	解剖生理学	60	元獣医師の教員がその経験を活かし、人体の解剖生理学に関する講義をする	
		医療英会話	30	元獣医師で大学教員であった講師が、様々な外国人との医療分野に関わる英会話を解説する	
8	竹田 圭子	基礎疾患 II	30	元看護師の教員が医療現場で経験した内科的疾患に関する講義をする	
		心理学 II	30	元看護師が患者である老人や障がい者への対応をその心理的側面から解説する	
9	太田 雅子	医療管理学	45	教員経験かつ医療業界での実務経験を持つ教員が、医療事務の業務のみならず、病院全体の管理に携わっている現状を講義する	
		病院事務実務演習	60	教員経験かつ医療業界での実務経験を持つ教員が、受付から会計、その他組織における細部にわたる業務を解説し演習する	▲
		就活サポート II	15	教員経験かつ医療業界において実務経験を持ち、新人指導経験のある教員が、社会人に要する資質等を講義し、これまでの講義演習で習得してきた内容を纏める	
		コミュニケーションマナー	30	学校現場における教員経験かつ医療業界での実務経験を持ち新人指導経験のある教員が、社会人としての基礎基本となるマナーを指導し実習する	
		ホスピタルマナー	30	学校現場における教員経験かつ医療業界での実務経験を持ち新人指導経験のある教員が、社会人としての基礎基本となるマナーを指導し実習する	

		医療事務	150	医療事務の資格を持った教員が、受付から会計、診療報酬請求まで医療事務の基礎知識を指導する	
		医療保険制度・法規Ⅰ	30	教員経験かつ医療業界での実務経験を持ち、新人指導経験のある教員が保険制度やしきみについて解説する	
10	照井 雅弥	薬事関連法規・制度Ⅰ	30	登録販売者試験有資格であり、ドラッグストアに勤務していた教員が薬事法規について指導する	
11	大石 悦子	薬剤学Ⅰ・Ⅱ	60	薬剤師業務に携わった経験を持つ薬剤師が、薬剤に関する基本的知識を講義する	
12	神田 昭	手話	30	塾・家庭教師として中高生に勉強を教えた講師が、手話通訳の経験を通し基本を指導する	選択③
13	金城 杏	韓国語販売会話	30	韓国出身の講師が通訳や学校現場での指導経験を通し、身近な会話術を指導する	選択③
14	下川 満智子	メディカルクラーク論	30	現役看護師がクラークを指導した経験を活かし、患者対応や看護師・医師のサポート業務を解説する	■
		メディカルクラーク実務演習	60	現役看護師が、医療現場で使用する材料等の知識をその目的や使用方法について演習を通して指導する	■
15	山田 武志	調剤薬局総論	30	現役薬剤師が、経営している調剤薬局の現状・日常業務等について解説する	★
		調剤薬局実務演習	60	現役薬剤師が、経営している調剤薬局の現場における薬剤師業務を解説し、アシスタント業務の演習を行う	★
16	栢田 雅世	「登録販売者試験対策フォローアップ講座Ⅱ」	60	登録販売者試験有資格であり、数年にわたり教鞭をとった教員が試験対策を指導する	選択⑤

▲病院事務専攻のみ ■病院秘書クラーク専攻のみ ★調剤薬局事務専攻のみ

選択①②③④⑤は同数字いずれかのみ

◆診療放射線学科 1年次 1020時間

	教員名	教科目	時間	実務経験に係る内容	その他
1	武田 祐司	画像工学Ⅰ	30	放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員がX線画像を得るための知識、画像評価の基礎を講義する。	
2	濱谷 美和	エックス線解剖学Ⅰ	60	放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、放射線検査における画像解剖を講義する。	
		エックス線画像技術学Ⅰ	30	放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、X線の成り立ち、X線を用いた撮影方法について講義する。	

		エックス線画像技術学Ⅱ	30	放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、X線の成り立ち、X線を用いた撮影方法について講義する。	
		エックス線画像技術学実習Ⅰ	45	放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、X線を用いた撮影方法について実習を指導する。	
3	青山 敏幸	エックス線解剖学Ⅰ		放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、放射線検査における画像解剖を講義する。	
		エックス線画像技術学Ⅰ		放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、X線の成り立ち、X線を用いた撮影方法について講義する。	
		エックス線画像技術学Ⅱ		放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、X線の成り立ち、X線を用いた撮影方法について講義する。	
		エックス線画像技術学実習Ⅰ		放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、X線を用いた撮影方法について実習を指導する。	
4	木村 紀行	診療画像機器学Ⅰ	30	診療放射線技師として各種診療画像機器の使用経験を有する教員が、各装置の構造、原理および性能について講義する。	
		診療画像機器学Ⅱ	30	診療放射線技師として各種診療画像機器の使用経験を有する教員が、最適な画像情報を得るために各機器に必要な性能にはどのようなものがあるか講義する。	
5	鈴木 正俊	放射性医薬品学	30	診療放射線技師として核医学検査に携わった経験を持つ教員が、放射性医薬品の物理学・化学・生物学的特性から取り扱い方法まで系統的に講義する。	
6	鵜飼 渉	医学概論	30	医学系臨床実習前OSCE評価（機構（厚労省）認定評価者）、医科学専攻（修士課程）、基礎・臨床研究クルーズ（臨床研修医）担当教員（現医学部神経精神医学講座准教授）などの経験を有する教員が、医学・医療従事者のあり方について、医療面接～医学研究の実践に基づいて講義を実施する。	
		病理学Ⅰ	15	医学系臨床実習前OSCE評価（機構（厚労省）認定評価者）、医科学専攻（修士課程）、基礎・臨床研究クルーズ（臨床研修医）担当教員（現医学部神経精神医学講座准教授）などの経験を有する教員が、病理学について、基礎・臨床医学研究の実践に基づいて講義を実施する。	
7	坂田 富貴子	保健理論	30	看護師業務に携わった経験を持つ教員が、健康，高齢化社会，医療倫理について講義する。	

8	吉田 和美	介護学	15	介護事業所を開設し、現在も介護現場で実践している通院介助の経験を活かし、放射線技師に必要な介護技術を実習・指導する。	
---	-------	-----	----	--	--

2・3年次 2025時間

	教員名	教科目	時間	実務経験に係る内容	その他
1	武田 祐司	画像工学実験	45	放射線技師として各種撮影業務に携わった経験を持つ教員が、医用画像の画像評価および画像処理の実験の指導を行う。	
2	濱谷 美和	エックス線解剖学Ⅱ		放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、放射線検査における画像解剖を講義する。	
		基礎医学大要	15	診療放射線技師業務の経験を有する教員が、診療放射線技師として必要な解剖学、生理生化学、薬理学および病理学などの知識について総括的に講義する。	
		エックス線画像技術学Ⅲ		放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、X線の成り立ち、X線を用いた撮影方法について講義する。	
		エックス線画像技術学Ⅳ		放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、X線の成り立ち、X線を用いた撮影方法について講義する。	
		エックス線画像技術学演習	30	診療放射線技師として撮影業務の経験を有する教員が、診療画像機器学、基礎医学および画像工学の知識を統合し、X線画像技術について総合的に演習を行う。	
		エックス線画像技術学実習Ⅱ		放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、X線を用いた撮影方法について実習を指導する。	
		エックス線CT画像技術学実習		診療放射線技師としてCT撮影業務の経験のある教員が、CT撮影のシミュレーション、性能評価、3D画像の作成などの実習の指導を行う。	
		診療画像機器学実験		診療放射線技師として各種診療画像機器の使用経験を有する教員が、各機器の基本原理を理解するための実験および性能評価による機器の管理方法の実験の指導を行う。	
		画像診断学	30	診療放射線技師として各種画像検査に携わった経験のある教員が、質の高い画像情報を提供するために必要となる画像の良否の判定・読影するための知識について講義する。	

		核医学検査技術学Ⅱ	30	診療放射線技師として核医学検査に携わった経験を持つ教員が、核医学検査で得られる画像・定量値の特徴について講義する。また、核医学治療の特徴について講義する。	
		放射線安全管理学実験		診療放射線技師および第1種放射線取扱主任者の資格を有し、病院および大学の放射線管理経験のある教員が、人および場所の管理に必要な測定技術に関する実験を指導する。	
3	青山 敏幸	エックス線解剖学Ⅱ	30	放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、放射線検査における画像解剖を講義する。	
		エックス線画像技術学Ⅲ	30	放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、X線の成り立ち、X線を用いた撮影方法について講義する。	
		エックス線画像技術学Ⅳ	30	放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、X線の成り立ち、X線を用いた撮影方法について講義する。	
		エックス線画像技術学実習Ⅱ	45	放射線撮影業務に携わった経験を持つ教員が、X線を用いた撮影方法について実習を指導する。	
4	菅原 宏昌	病態制御学		医学系臨床実習前OSCE評価（機構（厚労省）認定評価者）、医科学専攻（修士課程）、基礎・臨床研究クルズ（臨床研修医）担当教員（現医学部神経精神医学講座准教授）などの経験を有する教員および医療系資格を有する教員が、病態制御学について、基礎・臨床医学研究の実践に基づいて講義を実施する。	
		核医学検査技術学Ⅰ	30	診療放射線技師として核医学検査に携わった経験を持つ教員が、核医学検査の目的、原理および検査方法について講義する。	
		画像工学Ⅱ	30	診療放射線技師として各種モダリティでの撮影業務の経験を持つ教員が、医用画像のデジタル画像処理の方法について講義する。	
		画像工学実験		放射線技師として各種撮影業務に携わった経験を持つ教員が、医用画像の画像評価および画像処理の実験の指導を行う。	
		核医学検査技術学Ⅱ		診療放射線技師として核医学検査に携わった経験を持つ教員が、核医学検査で得られる画像・定量値の特徴について講義する。また、核医学治療の特徴について講義する。	

		核医学検査技術学演習	30	診療放射線技師として核医学検査業務の経験を有する教員が、放射化学、基礎医学および臨床薬理学の知識を統合し、核医学検査技術について総合的に指導する。	
		医用画像情報学Ⅱ	15	病院の医療情報システム管理の経験を有する教員が、画像評価法、デジタル画像処理、画像圧縮、院内LANおよび電子カルテについて講義する。	
		医療安全管理学	15	診療放射線技師として画像診断などの経験のある教員が、医療におけるリスクマネジメントおよび医療事故の実際とその対策について講義する。	
		エックス線CT画像技術学	30	診療放射線技師としてCT撮影業務の経験のある教員が、CTの撮像原理および画像処理から臨床における検査方法まで系統的に講義する。	
		エックス線CT画像技術学実習	45	診療放射線技師としてCT撮影業務の経験のある教員が、CT撮影のシミュレーション、性能評価、3D画像の作成などの実習の指導を行う。	
5	木村 紀行	磁気共鳴断層画像技術学Ⅰ	30	磁気共鳴専門技術者の資格を有し、診療放射線技師としてMRI検査業務に携わっている教員が、MRIの原理等の基礎的分野について講義する。	
		磁気共鳴断層画像技術学Ⅱ	30	磁気共鳴専門技術者の資格を有し、診療放射線技師としてMRI検査業務に携わっている教員が、MRIの原理等の基礎的分野について講義する。	
		診療画像機器学Ⅲ	30	診療放射線技師として各種デジタル診療画像機器の使用経験を有する教員が、各装置の動作原理を中心に講義する。	
		診療画像機器学実験	45	診療放射線技師として各種診療画像機器の使用経験を有する教員が、各機器の基本原理を理解するための実験および性能評価による機器の管理方法の実験の指導を行う。	
		核医学概論	30	診療放射線技師として核医学検査に携わった経験を持つ教員が、核医学検査における診療放射線技師の役割、検査に用いる機器および検査の概要について講義する。	
		放射線治療技術学演習	30	診療放射線技師として放射線治療業務の経験を有する教員が、放射線生物学および基礎医学の知識を統合し、放射線治療技術学について総合的に指導する。	

6	鈴木 正俊	画像工学実験		放射線技師として各種撮影業務に携わった経験を持つ教員が、医用画像の画像評価および画像処理の実験の指導を行う。	
		関係法規	30	診療放射線技師および第1種放射線取扱主任者の資格を有し、病院および大学研究施設において放射線管理経験のある教員が、放射線関係法規について講義する。	
		放射線安全管理学	30	診療放射線技師および第1種放射線取扱主任者の資格を有し、病院および大学研究施設において放射線管理経験のある教員が、主に医療現場における放射線安全管理の目的、方法について講義する。	
		放射線安全管理学実験	45	診療放射線技師および第1種放射線取扱主任者の資格を有し、病院および大学の放射線管理経験のある教員が、人および場所の管理に必要な測定技術に関する実験を指導する。	
7	池田 望	病態制御学		医学系臨床実習前OSCE評価（機構（厚労省）認定評価者）、医科学専攻（修士課程）、基礎・臨床研究クルズス（臨床研修医）担当教員（現医学部神経精神医学講座准教授）などの経験を有する教員および医療系資格を有する教員が、病態制御学について、基礎・臨床医学研究の実践に基づいて講義を実施する。	
8	鶴飼 渉	病理学Ⅱ	15	医学系臨床実習前OSCE評価（機構（厚労省）認定評価者）、医科学専攻（修士課程）、基礎・臨床研究クルズス（臨床研修医）担当教員（現医学部神経精神医学講座准教授）などの経験を有する教員が、病理学について、基礎・臨床医学研究の実践に基づいて講義を行う。	
		臨床医学概論	15	医学系臨床実習前OSCE評価（機構（厚労省）認定評価者）、医科学専攻（修士課程）、基礎・臨床研究クルズス（臨床研修医）担当教員（現医学部神経精神医学講座准教授）などの経験を有する教員が、臨床医学について、基礎・臨床医学研究の実践に基づいて講義を実施する。	

		病態制御学	15	医学系臨床実習前OSCE評価（機構（厚労省）認定評価者）、医科学専攻（修士課程）、基礎・臨床研究クルーズ（臨床研修医）担当教員（現医学部神経精神医学講座准教授）などの経験を有する教員および医療系資格を有する教員が、病態制御学について、基礎・臨床医学研究の実践に基づいて講義を実施する。	
8	大谷 亮	超音波検査学		診療放射線技師または臨床検査技師として超音波検査業務の経験のある教員が、超音波の原理等の基礎的分野から臨床における検査の実際までについて系統的に講義する。	
		超音波検査学実習		診療放射線技師または臨床検査技師として超音波検査業務の経験のある教員が、超音波診断装置の扱い方、画像の描出方法などについて指導する。	
9	菊地 実	超音波検査学	30	診療放射線技師または臨床検査技師として超音波検査業務の経験のある教員が、超音波の原理等の基礎的分野から臨床における検査の実際までについて系統的に講義する。	
		超音波検査学実習	45	診療放射線技師または臨床検査技師として超音波検査業務の経験のある教員が、超音波診断装置の扱い方、画像の描出方法などについて指導する。	
10	空閑 大輔	放射線治療技術学Ⅰ		診療放射線技師として放射線治療業務に携わっている教員が、放射線治療の基礎から適用疾患と照射法ならびに線量計算法について講義する。	
		放射線治療技術学Ⅱ		診療放射線技師として放射線治療業務に携わっている教員が、放射線治療の特徴、実際の放射線治療の手順および放射線治療における診療放射線技師の役割について講義する。	
11	坂田 富貴子	放射線看護学	30	看護師業務に携わった経験を持つ教員が、看護の概念、放射線検査における援助技術の実際について、実習を交えて講義する。	
12	佐藤 恵	超音波検査学		診療放射線技師または臨床検査技師として超音波検査業務の経験のある教員が、超音波の原理等の基礎的分野から臨床における検査の実際までについて系統的に講義する。	
		超音波検査学実習		診療放射線技師または臨床検査技師として超音波検査業務の経験のある教員が、超音波診断装置の扱い方、画像の描出方法などについて指導する。	

13	宍戸 博紀	放射線治療学概論	30	診療放射線技師として放射線治療業務に携わった経験を持つ教員が、放射線生物学的なアプローチから放射線治療の有用性について講義する。
		放射線治療機器学	30	診療放射線技師として放射線治療業務に携わった経験を持つ教員が、各種放射線照射装置の構造、原理および特徴について、また、各種密封小線源の特徴や安全管理について講義する。
14	神 幸二	超音波検査学		診療放射線技師または臨床検査技師として超音波検査業務の経験のある教員が、超音波の原理等の基礎的分野から臨床における検査の実際までについて系統的に講義する。
		超音波検査学実習		診療放射線技師または臨床検査技師として超音波検査業務の経験のある教員が、超音波診断装置の扱い方、画像の描出方法などについて指導する。
15	高橋 智子	超音波検査学		診療放射線技師または臨床検査技師として超音波検査業務の経験のある教員が、超音波の原理等の基礎的分野から臨床における検査の実際までについて系統的に講義する。
16	中明 鉄朗	放射線治療技術学Ⅰ	30	診療放射線技師として放射線治療業務に携わっている教員が、放射線治療の基礎から適用疾患と照射法ならびに線量計算法について講義する。
		放射線治療技術学Ⅱ	30	診療放射線技師として放射線治療業務に携わっている教員が、放射線治療の特徴、実際の放射線治療の手順および放射線治療における診療放射線技師の役割について講義する。
17	西上 健太郎	核医学検査機器学	30	診療放射線技師として核医学検査に携わった経験を持つ教員が、核医学検査に用いられる装置の構成、撮像原理および画像・性能評価方法などについて講義する。
18	松本 真知子	臨床薬理学	30	薬剤師業務に携わった経験ならびに学校現場における教育・研究指導経験がある教員が、臨床における薬や病態の基礎的知識および処方箋授受から服薬指導まで基本的な流れに関して講義する。

		病態制御学		医学系臨床実習前OSCE評価（機構（厚労省）認定評価者）、医科学専攻（修士課程）、基礎・臨床研究クルーズ（臨床研修医）担当教員（現医学部神経精神医学講座准教授）などの経験を有する教員および医療系資格を有する教員が、病態制御学について、基礎・臨床医学研究の実践に基づいて講義を実施する。	
19	臨床実習病院 実習指導者 診療放射線学 科専任教員	臨床実習	450	診療放射線技師に必要な能力を身に付けるため、病院等の臨床現場において、実習指導者の指導の下、患者様の応対や各種検査・治療技術などの習得およびチーム医療の一員としての自覚を育むための実習を指導する。	

◆看護学科 1年次 新カリキュラム 1080時間

	教員名	教科目	時間	実務経験に係る内容	その他
				※シラバスにて採用する文と同じ	
1	実原 美和	解剖生理学V	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、人体の構造と健康な人の日常生活動作についての講義を担当する。	
		看護学概論 I	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、看護の歴史や看護理論を通して看護の概念について講義を担当する。	
		看護学概論 II	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、看護の対象である人間の理解について講義を担当する。	
		診療の補助技術 I	2	看護師として病院で実務経験のある教員が苦痛の緩和・安楽のための技術について講義を担当する。	
		看護過程 I	18	看護師として病院で実務経験のある教員が、看護実践するための考え方について講義を担当する。	
		老年看護学概論	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、高齢者を取り巻く環境、老年期の発達課題、加齢・老化に伴う変化や特徴について講義を担当する。	
2	若月 佐知子	解剖生理学V	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、人体の構造と健康な人の日常生活動作についての講義を担当する。	
		看護学概論 I	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、看護の歴史や看護理論を通して看護の概念について講義を担当する。	
		看護学概論 II	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、看護の対象である人間の理解について講義を担当する。	

		看護過程 I	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、関係性構築のコミュニケーションや看護記録の実際について講義を担当する。	
		老年看護学概論	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、高齢者を取り巻く環境、老年期の発達課題、加齢・老化に伴う変化や特徴について講義を担当する。	
3	小笠原 裕美	日常生活援助技術 I	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、高齢者を取り巻く環境、老年期の発達課題、加齢・老化に伴う変化や特徴について講義を担当する。	
4	櫻井 葉子	看護の共通技術 I	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、対象の健康状態の観察と評価について講義を担当する。	
		日常生活援助技術 I	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、日常生活行動を整える看護技術について講義を担当する。	
		日常生活援助技術 II	8	看護師として病院で実務経験のある教員が呼吸管理に必要な技術について講義を担当する。	
		診療の補助技術 I	8	看護師として病院で実務経験のある教員が、診療の補助技術について講義を担当する。	
5	堀川 亜希	看護の共通技術 I	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、対象の健康状態の観察と評価について講義を担当する。	
		成人看護学概論	30	看護師として病院で実務経験のある教員が、看護援助における個別性の重要性について講義を担当する。	
6	薮田 由美	看護の共通技術 I	30	看護師として病院で実務経験のある教員が、関係性構築のコミュニケーションや看護記録の実際について講義を担当する。	
		日常生活援助技術 II	20	看護師として病院での実務経験のある教員が、日常生活行動を整える看護技術について講義を担当する。	
7	柁本 真美	地域で生活する人々の理解	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、日常生活行動を支える看護技術について講義を担当する。	
		診療の補助技術 I	6	看護師として実務経験豊富な教員が、在宅療養者と家族の支援に必要な具体的看護について事例を通して講義を担当する。	
8	三原 将昭	病態学 I (呼吸器)	14	専門分野において活躍している現役看護師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。	
9	鎌田 武	病態学 I (循環器)	14	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。	

10	西田 靖仙	病態学Ⅱ (消化器)	16	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
11	中村 聡子	病態学Ⅱ (免疫・アレルギー)	4	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
12	杉田 純一	病態学Ⅱ (血液・造血器)	8	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
13	吉野 雅美	病態学Ⅲ (脳神経系)	6	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
14	緒方 昭彦	病理学Ⅲ (脳神経系)	2	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
15	中村 雅一	病理学Ⅲ (脳神経系)	2	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
16	相馬 広幸	病理学Ⅲ (脳神経系)	2	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
17	高橋 輝一	病態学Ⅲ (運動器)	4	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
18	寺島 嘉紀	病態学Ⅲ (運動器)	4	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
19	岡部 洸	病態学Ⅲ (泌尿器)	4	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
20	野藤 誓亮	病態学Ⅲ (泌尿器)	2	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
21	藤野 景子	病態学Ⅲ (泌尿器)	2	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
22	井川 裕之	病態学Ⅳ (内分泌・代謝)	10	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
23	西尾 千恵子	病態学Ⅳ (皮膚科)	2	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
24	水内 一臣	病態学Ⅳ (眼科)	4	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
25	白崎 英明	病態学Ⅳ (耳鼻咽喉)	4	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。
26	北川 善政	病態学Ⅳ (歯科・口腔科)	4	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。

27	萬 和馬	病態学Ⅳ (女性生殖器)	4	専門分野において活躍している現役医師が、看護に必要な病態学について講義を担当する。	
28	三上 剛人	基礎看護学方法論Ⅴ	6	看護師であり救急救命士として、現役で救命救急士養成に携わっている教員が、救命処置について講義を担当する。	
	専任教員	生活を知る実習 生活を支える実習	45 90	学内で学んだ知識・技術・態度を統合しあらゆる発達段階・健康水準の対象に対して科学的根拠をもって看護を実践できる基礎的能力を養うための指導を行う	

◆看護学科 2年次 旧カリキュラム 1065時間

	教員名	教科目	時間	実務経験に係る内容	その他
				※シラバスにて採用する文と同じ	
1	実原 美和	老年看護学方法論Ⅲ	15	看護師として病院で実務経験のある教員が、高齢者の健康障害を踏まえてその人らしく生活できることを重視した、看護の考え方について事例を用いて講義を担当する。	
		看護の統合Ⅱ	4	看護師として実務経験を有し、看護教員としてもマネジメントに携わる教員が、医療安全について講義を担当する。	
2	若月 佐知子	基礎看護学技術演習Ⅱ	15	看護師として病院で実務経験のある教員が、看護援助における個別性の重要性について講義を担当する。	
		成人看護学方法論Ⅰ	8	看護師として病院で実務経験のある教員が、急性期にある患者の特徴と看護の役割について講義を担当する。	
3	池田 緑	成人看護学方法論Ⅴ	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、成人期にある患者の看護実践の考え方を事例を用いて講義を担当する。	
		小児看護学概論	30	看護師として病院で実務経験のある教員が、小児各期の成長や発達、子どもと家族を取り巻く環境の理解などを踏まえて看護の役割について講義を担当する。	
		小児看護学方法論Ⅰ	4	看護師として病院で実務経験のある教員が、子どもの栄養について講義を担当する。	
		小児看護学方法論Ⅱ	22	看護師として病院で実務経験のある教員が、小児の発達や成長を踏まえた対象の理解や看護の考え方について講義を担当する。	

		小児看護学方法論Ⅲ	15	看護師として病院で実務経験のある教員が、小児看護に必要な看護技術について講義を担当する。	
4	小笠原 裕美	老年看護学方法論Ⅰ	30	看護師として病院で実務経験のある教員が、高齢者の健康障害の特徴と生活機能を整える看護について講義を担当する。	
		老年看護学方法論Ⅱ	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、検査・治療を受ける高齢者の看護について講義を担当する。	
5	櫻井 葉子	成人看護学方法論Ⅵ	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、母性看護の考え方や新生児に必要な看護について講義を担当する。	
		母性看護学概論	16	看護師として病院で実務経験のある教員が、母性看護の考え方の基盤や役割について講義を担当する。	
6	堀川 亜希	基礎看護学技術演習Ⅱ	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、感染防止の基本的技術について講義を担当する。	
		成人看護学方法論Ⅰ	2	看護師として病院で実務経験のある教員が、急性期にある患者の特徴と看護の役割について講義を担当する。	
		成人看護学方法論Ⅱ	4	看護師として病院で実務経験のある教員が、周手術期にある患者の特徴と看護の役割についての講義を担当する。	
		成人看護学方法論Ⅴ	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、成人期にある患者の看護実践の考え方について事例を用いて講義を担当する。	
		成人看護学方法論Ⅵ	14	看護師として病院で実務経験のある教員が、成人期にある患者の健康問題を理解し、必要な観察や看護技術など具体的看護について事例を用いて講義を担当する。	
7	薮田 由美	成人看護学方法論Ⅲ	8	看護師として病院で実務経験のある教員が、慢性期にある患者の特徴と看護の役割について講義を担当する。	
		精神看護学方法論Ⅱ	12	看護師として病院で実務経験のある教員が、精神科における日常生活援助について講義を担当する。	
8	柁本 真美	在宅看護概論	30	看護師として実務経験豊富な教員が、在宅療養者と家族の支援に必要な基礎的知識と看護について講義を担当する。	
		在宅看護方法論Ⅱ	4	看護師として実務経験豊富な教員が、在宅療養者と家族の支援に必要な基礎的知識と看護について講義を担当する。	

		在宅看護方法論Ⅲ	30	看護師として実務経験豊富な教員が、在宅療養者と家族の支援に必要な具体的看護について事例を通して講義を担当する。	
9	齋藤 健	成人看護学方法論Ⅰ (脳神経系)	6	現役の脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が、脳・神経機能障害のある人の看護について講義を担当する。	
		成人看護学方法論Ⅲ (慢性期)	6	現役の脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が、リハビリテーション期における看護について講義を担当する。	
10	千田 ルミ子	成人看護学方法論Ⅰ (消化器)	8	がん看護専門看護師としてがん相談支援センターの総合相談担当として活躍している教員が、消化機能障害のある患者の看護について講義を担当する。	
11	倉本 朗	成人看護学方法論Ⅰ	4	現役の感染管理認定看護師として病院で活躍する教員が、成人看護学における急性期看護の生体防御機能障害や感染のある患者の看護について講義を担当する。	
12	太田 直子	成人看護学方法論Ⅱ	4	現役の皮膚・排泄ケア認定看護師として病院で活躍する教員が、成人看護学における術式による特徴的な看護について講義を担当する。	
13	曾根 鉄矢	成人看護学方法論Ⅱ	6	脳神経疾患専門病院で緊急手術や急性期治療などに携わっている現役の看護師が、手術前患者の看護について講義を担当する。	
14	久保 真樹	成人看護学方法論Ⅱ	6	脳神経疾患専門病院の手術室で活躍する現役の看護師が、手術中患者の看護について講義を担当する。	
15	長谷部 尚子	成人看護学方法論Ⅱ	6	脳神経疾患専門病院で緊急手術や急性期治療などに携わっている現役の看護師が、手術後患者の看護について講義を担当する。	
16	河村 清美	成人看護学方法論Ⅱ (乳がん看護)	2	現役の乳がん看護認定看護師として病院で活躍している教員が、成人看護学の術式による特徴的な看護について講義を担当する。	
17	森山 由希子	成人看護学方法論Ⅲ	6	病院で活躍する現役看護師が、成人看護学における栄養摂取障害をもつ人への看護についての講義を担当する。	
18	若林 マリア	成人看護学方法論Ⅲ	4	現役の透析看護認定看護師として活躍する教員が、成人看護学における慢性期看護について講義を担当する。	
19	岩村 千晴	成人看護学方法論Ⅲ	4	がん化学療法認定看護師の資格を持ち、現役看護師として活躍する教員が、化学療法・放射線療法における看護についての講義を担当する。	

20	二井矢 ひとみ	成人看護学方法論Ⅳ (終末期)	10	現役のがん看護専門看護師として病院で活躍する教員が、成人看護学における終末期看護について講義を担当する。
21	北出 弘美	成人看護学方法論Ⅳ	8	現役の緩和ケア認定看護師として病院で活躍する教員が、成人看護学における終末期看護についての講義を担当する。
22	田邊 真知子	成人看護学方法論Ⅳ (終末期看護)	6	現役の緩和ケア認定看護師として緩和ケア病棟で活躍する教員が、成人看護学における終末期看護についての講義を担当する。
23	藤原 大地	成人看護学方法論Ⅳ	4	緩和ケア認定看護師として病院で実務経験のある教員が、終末期にある患者の理解と役割についての講義を担当する。
24	佐藤 美穂	老年看護学方法論Ⅱ	6	現役の看護師として、高齢者を対象とした現場で活躍する教員が、高齢者の生活・療養の場における看護について講義を担当する。
25	瀬藤 真理子	老年看護学方法論Ⅱ	8	現役の認知症看護認定看護師として、病院で活躍する教員が、認知症高齢者の看護について講義を担当する。
26	加藤 静恵	小児看護学方法論Ⅰ	10	小児医療に携わる現役医師が、専門分野においての経験を持って、小児の疾患・看護について講義を担当する。
27	吉本 康子	小児看護学方法論Ⅰ	4	小児看護専門看護師として小児看護に携わり、小児がんの研究発表や他の大学においても教授する看護師が、症状を示す子どもの看護について講義を担当する。
28	岩崎 美樹	小児看護学方法論Ⅰ	4	現役の看護師として小児看護に携わらない、他の専門学校でも教授した経験のある看護師が、子どもの状況により特徴づけられる看護について講義を担当する。
29	眞保 隆	小児看護学方法論Ⅰ	6	重症心身障害児施設で活躍する現役の看護師が、障がいのある子どもの看護について講義を担当する。
30	上村 浩太	小児看護学方法論Ⅱ	6	高度・先進医療を提供する小児総合専門病院で現役の看護師として活躍する教員が、慢性期や終末期にある子どもと家族への看護について講義を担当する。
31	中畑 夕美子	母性看護学概論	8	産科で現役助産師として活躍する教員が、女性のライフステージ各期の看護について講義を担当する。
32	堀江 里江	母性看護学概論	4	産科で現役助産師として活躍する教員が、子どもと女性に対する支援についての講義を担当する。

33	北村 芳子	母性看護学方法論 I	10	産科で現役助産師として活躍する教員が、妊娠・分娩期の看護について講義を担当する。
34	林 真帆	母性看護学方法論 I	10	産科で現役助産師として活躍する教員が、妊娠の看護について講義を担当する。
35	小野 りえ子	母性看護学方法論 I	8	産科で活躍する助産師が、妊娠・分娩期に起きる健康障害について講義を担当する。
		母性看護学方法論 II	4	産科で活躍する助産師が、周産期に起きる健康障害について講義を担当する。
36	海老名 由紀子	母性看護学方法論 II	12	現役助産師として助産院を経営する教員が、褥婦と家族の看護についての講義を担当する。
37	木下 みのり	母性看護学方法論 II	8	産科で現役助産師として活躍する教員が、新生児や産褥期の看護について講義を担当する。
38	河野 麻実	母性看護学方法論 II	4	産科で現役看護師として活躍する教員が、新生児の看護について講義を担当する。
39	那須 典政	精神看護学方法論 I	14	現役の精神看護専門看護師として病院で活躍している看護師が、精神看護の実際について講義を担当する。
40	小林 清樹	精神看護学方法論 I	6	現役医師として精神科医療に携わる教員が、精神看護学の対象理解と必要な看護についての講義を担当する。
41	村本 好孝	精神看護学方法論 I	8	現役看護師として精神看護に携わる教員が、精神看護学について講義を担当する。
		精神看護学方法論 II	4	現役看護師として精神看護に携わる教員が、精神看護学について講義を担当する。
42	清永 久子	精神看護学方法論 II	4	現役の看護師として精神科看護の現場で活躍する教員が、精神看護の役割や身体疾患と精神症状について講義を担当する。
43	谷藤 伸恵	精神看護学方法論 II	4	現役の看護師として、訪問看護ステーションの経営者として活躍する教員が、地域における精神保健と精神看護について講義を担当する。
44	三浦 由佳	精神看護学方法論 II	4	現役の精神保健福祉士として、精神領域で活躍している教員が、当事者研究としてゲストスピーカーを招き講義を担当する。
45	服部 裕子	在宅看護方法論 I	20	現役の看護師として、訪問看護の分野で活躍する教員が、在宅看護の実際についての講義を担当する。
		在宅看護方法論 II	24	現役の看護師として、訪問看護の分野で活躍する教員が、在宅看護の実際についての講義を担当する。

46	吉村 祥子	在宅看護方法論 I	2	現役の看護師として、訪問看護の分野で活躍する教員が、訪問看護の基本技術についての講義を担当する。	
47	齋藤 美雪	在宅看護方法論 I	6	現役の看護師として、訪問看護の分野で活躍する教員が、訪問看護の基本技術についての講義を担当する。	
48	江原 美智子	看護の統合 I	30	看護及び教育実践の研究論文が豊富な教員がケーススタディを通して研究の基礎知識について講義を担当する。	
49	橋本 みどり	看護の統合 II	12	現役の看護管理認定看護師として病院の管理者として活躍する教員が、看護管理の実際について講義を担当する。	
50	荒 利絵	看護の統合 II	12	現役看護師として医療安全に携わる教員が、医療安全の実際について講義を担当する。	
	専任教員	基礎看護学実習 II 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II	90 90 90	学内で学んだ知識・技術・態度を統合しあらゆる発達段階・健康水準の対象に対して科学的根拠をもって看護を実践できる基礎的能力を養うための指導を行う	実習要綱に記載

◆看護学科 3年次 旧カリキュラム 855時間

	教員名	教科目	時間	実務経験に係る内容	その他
				※シラバスにて採用する文と同じ	
1	櫻井 葉子	母性看護学方法論Ⅲ	15	看護師として病院で実務経験のある教員が、母性看護の考え方や新生児に必要な看護について講義を担当する。	
2	藪田 由美	精神看護学方法論Ⅲ	30	看護師として病院で実務経験のある教員が、精神疾患や障害のある患者に必要な看護について講義を担当する。	
3	池田 緑	看護の統合Ⅲ	15	看護師として病院で実務経験のある教員が、看護実践場面で必要とされる基本的な考え方について講義を担当する。	
4	三上 剛人	看護の統合Ⅳ	18	看護師であり救急救命士として、現役で救命救急士養成に携わっている教員が、災害看護の実際について講義を担当する。	
5	松山 尚子	看護の統合Ⅳ	4	JCI認証を受け、外国人患者受け入れ拠点病院で活躍している看護師が、国際看護について講義を担当する。	
6	小池 真理子	看護の統合Ⅳ	6	海外青年協力隊など活躍した看護師が国際看護師について講義を担当する。	

専任教員	成人看護学実習Ⅲ	90	学内で学んだ知識・技術・態度を統合しあらゆる発達段階・健康水準の対象に対して科学的根拠をもって看護を實踐できる基礎的能力を養うための指導を行う	実習要綱に記載
	老年看護学実習Ⅰ	90		
	老年看護学実習Ⅱ	90		
	精神看護学実習	90		
	小児看護学実習	90		
	母性看護学実習	90		
	在宅看護論実習	90		
	看護の統合と実践実習	90		

◆保育学科

	教員名	教科目	時間	実務経験に係る内容	その他
1	中山 眞佐子	保育内容総論	30	学校現場での教職経験や児童会館での経験ある者が、保育内容の基礎を講義する。	
2	室崎 卯人	情報処理Ⅰ	30	学校現場で教職経験のある者が、社会で役に立つ情報処理機器の取り扱いのうち、基本的分野を習熟するように指導する。	
		情報処理Ⅱ	30	学校現場で教職経験のある者が、社会で役に立つ情報処理機器の取り扱いのうち、基本的分野を習熟するように指導する。	
		教育原理	30	教職経験のある者が、幼児、児童の各期における人間教育の歴史と実践を学び、保育教育指導者としてこれからの教育活動に活かすように指導する。	
3	川端 里香	社会的養護Ⅱ	30	学校現場で教職経験のある者が、現代社会の社会的養護の支援とそれに関わる相談援助について講義する	
		子ども家庭支援の心理学	30	学校現場で教職経験のある者が、発達理論等の心理学的知識を踏まえて講義を行う。	
		子育て支援	30	学校現場で教職経験のある者が、子育て支援の意義と原則等について講義する。	
4	牧田 俊樹	子ども家庭支援論	30	専門学校での教職経験のある者が、保育を取り巻く社会情勢の変化について講義する	
		障害の理解と支援	30	専門学校での教職経験のある者が、障害、障害者を切り口として、様々な角度からアプローチし、講義を展開する。	
5	工藤 美佐子	子どもの健康と安全	30	看護師、助産師、保健師の資格を持つ教職経験のある者が、子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義等について講義する。	

6	神部 雅子	障害児保育	60	専門学校、大学等で教育時経験があり、知的障害者の本人活動の支援をしている者が、障害児・者の地域生活を踏まえ講義を行う	
7	湊 乃理子	ピアノⅢ	60	現在ピアノ教室においてピアノ指導を行っている講師が、保育現場で必要なピアノ指導と音楽に関する基礎知識の講義をする。	★
		ピアノⅣ	60	現在ピアノ教室においてピアノ指導を行っている講師が、保育現場で必要なピアノ指導と音楽に関する基礎知識の講義をする。	★
8	小黒 理子	野外活動	60	現在、環境教育を行っている指導者が、野外における保育実践の演習を通して講義する。	
9	伊藤 喜幸	手話	30	手話通訳現場の通訳経験のある者が、「全国手話検定試験5級」の受験対応能力を指導する。	
10	前田 美矛	ペン字	60	硬筆書写技能検定1級資格を有する者が、同資格3級の受験対策と保育者及び社会人に必要な硬筆を指導する。	
11	小林 憲雄	保育内容「環境」	30	教育現場経験者が、その経験を生かした乳幼児期にふさわしい、領域「環境」について講義する	★
12	大森 和代	保育実習指導Ⅱ	30	保育現場経験者が、実習の目的・意義・倫理などについて指導を行う。	★ 選択 ★
		保育実習指導Ⅲ	30	保育現場経験者が、実習の目的・意義・倫理などについて指導を行う。	
		社会とマナー	30	保育現場経験者、専門学校講師経験者がその経験を生かし、社会人として求められる社会のマナーについての講義を行う	★
		保育実践演習	60	保育現場経験、専門学校講師経験者が保育に関する専門的知識・技術など総合的な習得に向けての講義を行う	★
		保育実習Ⅱ	80	現場経験のある者が、保育実習に関しての指導・巡回を行う。	★ 選択 ★
		保育実習Ⅲ	80	現場経験のある者が、保育実習に関しての指導・巡回を行う。	
		保育内容「環境」	30	保育現場経験者が、その経験を生かした乳幼児期にふさわしい、領域「環境」について講義する	★
13	金田 英司	医薬特別講座	30	学校現場における教育経験者が、その経験を生かした各方面・各業績がある方々の聴くことを学生に指導する。	★
14	田初 善弘	保育実習指導Ⅱ	30	学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、実習指導を行う。	★

		保育実習指導Ⅲ	30	学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、実習指導を行う。	★
		保育実習Ⅱ	80	教育現場経験のある者が、実習に関する指導・巡回を行う。	★
		保育実習Ⅲ	80	教育現場経験者が、実習に関する指導・巡回を行う。	★
		ピアノⅢ	60	音楽教員の経験者が、保育に必要なピアノの基礎に加え、子どもの歌の弾き歌いを講義する	★
		ピアノⅣ	60	音楽教員の経験者が、保育に必要なピアノの基礎に加え、子どもの歌の弾き歌いを講義する	★
15	遠藤 純子	保育内容「人間関係」	30	保育現場経験者が、その経験を生かし養護及び保育の内容「人間関係」について講義する	
		乳児保育Ⅱ	30	保育現場経験者（乳児担当含む）が、現場経験を活かして、「乳児保育Ⅱ」について講義する。	
16	佐藤 洋子	医薬特別講座	30	学校現場における教育経験者が、その経験を生かした各方面・各業績がある方々の聴くことを学生に指導する。	★

注

★の科目は複数の教員でT-T形式で実施している。